

☆化学畳について

- ・通称：スタイロ畳、ダイケン畳等
- ・ワラ床畳に比べ、化学畳はかなり軽量です（およそ1／3程度）
- ・フチの帯をカッター等で裂き、はがすと、ポリスチレン部分が確認できます
- ・これらの畳を廃棄する際は「廃発泡スチロール」の単価が適用されます（繊維くずと廃発泡スチロールの混合物）
- ・ワラ床の畳と見た目での判別がつきにくいので、搬入の際の許可品目漏れやマニフェストの記入漏れ等が無いように、十分ご注意ください

【断面図】 ポリスチレンフォーム保温材を用いた化学畳



【ウラ面】 「スタイロ畳」等の表示がある

